

第355回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和2年3月27日

第355回三木市議会定例会の閉会に当たりまして、一言、ごあいさつを申し上げます。

議員の皆様には、去る2月25日の開会以来、本日まで32日間に渡り、終始御精励を賜り、令和2年度の当初予算をはじめ、多数の重要案件について、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なる御審議をいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

おかげをもちまして、このたびの市議会に提案いたしました議案につきましては、適切なるご決定を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

今議会におきまして、議員各位からいただきました御意見、御指導等につきましては、十分留意し、今後の市政運営に当たってまいります。

さて、ここで、新型コロナウイルス感染症に係る本市の対応状況

についてご報告させていただきます。

1月29日の新型コロナウイルス対策調整会議、2月25日の同対策連絡会議を経て、3月1日、兵庫県内で新型コロナウイルスによる感染症患者が発生したことに伴い、同日午後9時に新型コロナウイルス対策本部を設置しました。

翌日3月2日から対策本部会議を随時開催し、公共施設の対応について協議し、不特定多数の者が利用する共用部分は閉鎖することなどを決定しました。また、教育委員会については、国や県からの要請を受け、3月3日から15日まで、市内の小・中・特別支援学校を臨時休校することを決定しました。この措置については、後に24日まで延長することとなった次第です。

その後、公共施設の予約キャンセルについては、キャンセル料をいただかないことや、三木市社会福祉協議会より提供いただいた備蓄用のマスク2万2千枚を、市内の介護施設や障がい者施設、学校教育施設、就学前教育・保育施設、アフタースクールの従事者用に配布することを、また、肺炎が胎児にも影響する恐れもあるため、妊婦に対しても1人当たり10枚を配布してまいりました。

このような対策を講じるなか、3月10日、11日に、北播磨総合医療センターにおいて、医師が新型コロナウイルスに感染したことにより、12日から25日までの2週間、外来診察や救急、新規

入院の受け入れの中止を決定しました。

この事態を受け、市では、公共施設等の利用中止等の対応をとり、また、市内医療機関のマスク調達が困難となっていることから、市の備蓄マスク7,500枚を国の措置に先んじて配布することを決定したところです。

北播磨総合医療センターでは、その後に陽性反応があった職員を含め計4名の感染者の感染経路を洗い出し、濃厚接触が疑われる42名のPCR検査を実施し、すべて陰性であったこと、また、新型コロナウイルスの潜伏期間とされる14日が経過した後も新たな感染者がないことを確認するとともに、感染リスクのある全19室の除染作業と、外来エリアの一斉消毒を実施されました。

これにより、昨日26日から、第一段階として、救急患者の受け入れと、外来の予約診療、予定入院の受け入れを再開しました。

第二段階として、4月6日から、紹介患者の外来・入院診療の再開を、第三段階として、4月13日から、一般初診患者を含むすべてを通常どおり再開することが決定しています。

市においては、本日午後、第9回目となる対策本部会議の開催を予定しており、現時点で3月31日までとしている市内公共施設等の利用中止等の再検討、そして、市内イベント等にかかる今後の対応等について協議を行う予定にしています。

さて、春休みまで臨時休校が続いたなか、市内の小・中・特別支援学校では、規模を縮小する形で卒業式が執り行われ、小学6年生620人、中学3年生653人、特別支援学校中学部5人の、合わせて1,278人が、希望に胸を膨らませ、母校を巣立ちました。

この子どもたちが、20年、30年先にも、三木に住んでいてよかった、仮に進学等で一旦三木を離れることになったとしても、いつかまた三木に戻ってきたいと思えるようなまちづくり、生まれ育った故郷で、豊かな人生を安心して送ることができる環境づくりを、しっかりと進めてまいります。

また、今週22日に、日本高等学校ゴルフ連盟の総会が開催され、全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会、通称「春高ゴルフ」の本市での開催が決定しました。この大会は、毎年、春休みに開催されます。予選を勝ち抜いた400～500人の中高生に加え、大会関係者なども三木市を訪れることとなります。この大会を本市で毎年開催することで、ジュニアゴルファーの聖地化と「ゴルフのまち三木」の一層のブランド化を進めます。

この4月からは、本市の今後10年間の市政の取組を示した総合

計画と、併せて、総合計画の前期に当たる今後5年間の本市の成長戦略「三木市創生計画」を同時施行いたします。

新たな総合計画に基づき、行政のあらゆる分野から市政を推進していくことに加え、令和2年度は、まずは施政方針でも述べました7つの視点、すなわち「まちのブランド化、雇用・子育て・移住定住の促進、そして公共交通の充実、誇れる教育と防災のまちの推進」を重点施策とし、三木創生へ向け、職務に邁進してまいります。

最後になりましたが、議員の皆様にはくれぐれも健康に御留意いただき、今後とも変わらぬ市政への御指導、御協力をいただきますよう、重ねてお願い申し上げまして、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。